

授業科目名	医学概論	単位数	2単位
担当教員名	吉田 保男	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	医師である教員が経験と専門的知見をもって学修指導を行っている。		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 (1) 医学の歴史の概要を学び、特に20世紀後半以降急速に発達した診断技術と治療法の変遷を理解する。 (2) 人体の構造（解剖学）と機能（生理学）の概要を理解する。 (3) 現代社会の代表的な疾病、生活習慣病、感染症、高齢者の疾病その他についての理解を深める。 (4) 高齢社会に伴いなんらかの障害を有する人々は増加するが、福祉とも特に関連の深いリハビリテーションの概要について理解する。 (5) 公衆衛生の現状と保健医療対策の概要を理解する。 (6) 医療保険制度を中心とした医療システムと、医師患者関係のあり方について考察する。 (7) 多くの職種にわたる医療従事者と医療施設について理解する。			
授業の概要 社会福祉関係の仕事に要求される医学の知識を得るために、まず、基本を医学一般で学ぶ。人体の構造、代表的な疾病、公衆衛生、保健や医療のサービスなどに係わる知識を習得するよう努めていただきたい。 医療関係の法令や医療関係の職種などに関する知識も、連携を取るには必須である。しかし、医学一般で学んだことは、社会福祉関係の仕事に就かなくても、生きてゆくためにきっと役立つことでしょう。			
授業計画 第1回：近代医学の歴史 第2回：近代医学の発展 第3回：人体の構造と機能 第4回：現代社会の疾病（生活習慣病、感染症） 第5回：現代社会の疾病（高齢者の疾病、神経疾患） 第6回：現代社会の疾病（精神疾患・精神保健、難病） 第7回：リハビリテーションの概要 第8回：公衆衛生の現状（人口動態） 第9回：公衆衛生の現状（保健所と市町村保健センターの活動） 第10回：保健医療対策（国民健康づくり対策） 第11回：保健医療対策（メタボリックシンドローム対策） 第12回：医療提供体制の現状 第13回：高齢化社会への対策 第14回：医師と患者のヒューマンリレーション 第15回：まとめ			
スクーリングでの学修			
テキスト 『社会福祉学習双書』編集委員会編（2024）『社会福祉学習双書第14巻 医学概論／保健医療と福祉』全国社会福祉協議会、9784793514555			
参考書・参考資料等 (1) 小橋 元・近藤 克則・黒田 研二・千代 豪昭（2020）『学生のための医療概論 第4版』医学書院、978-4-260-04125-6 (2) 坂井 建雄・岡田 隆夫・宇賀 貴紀（2022）『系統看護学講座-専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版』医学書院、978-4-260-04687-9 (3) 砂原 茂一（1980）『リハビリテーション』岩波新書、9784004201397			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			